第99回全国高校野球選手権

和歌山大会

シード田辺―高野山

7月13日開幕　組み合わせ決まる

和歌山市の紀三井寺球場で7月13日に開幕する第99回全国高校野球選手権和歌山大会の組み合わせ抽選会が24日、和歌山市の県民文化会館であり、準々決勝までの組み合わせが決まった。39校が甲子園出場をかけて戦う。

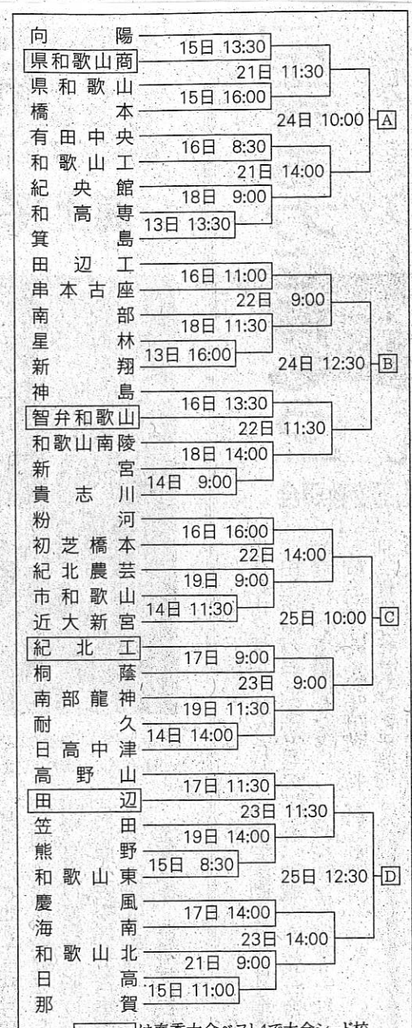
抽選会には各校の主将が出席。春季近畿大会の県予選でベスト4に入り、シード権を得た和歌山商業、智弁和歌山、紀北工業、田辺の主将がくじを引き、A～Dゾーンに振り分けられた。続いて残り35校の主将がくじを引いた。

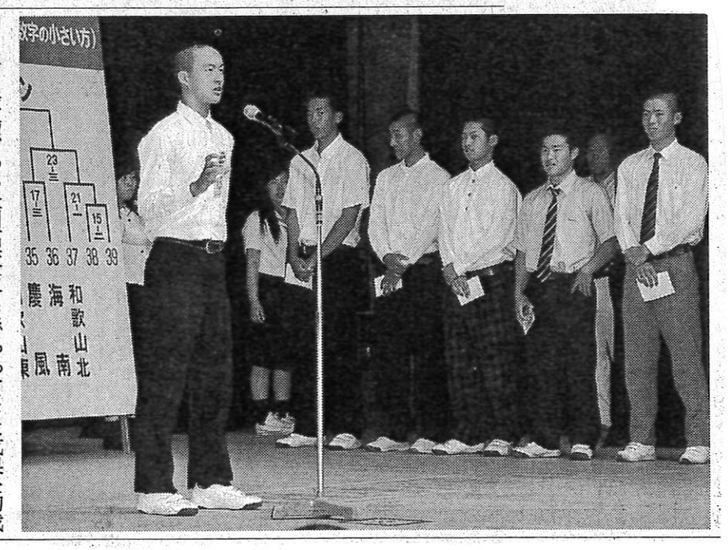
13日午後1時半からの開幕戦（1回戦第1試合）は、和歌山高専―箕島に決まった。

紀南関係では、13日の第2試合で新翔が星林と対戦。14日は第1試合で新宮が貴志川と、第2試合で近大新宮が市和歌山と対戦する。15日は第1試合で熊野が和歌山東と対戦。16日は第2試合で田辺工業と串本古座が対戦し、第3試合で神島が智弁和歌山と当たる。シードの田辺は17日の第2試合で高野山と対戦する。

南部は18日の第2試合で星林―新翔の勝者と、南部龍神は19日の第2試合で耐久―日高中津の勝者と当たる。

準決勝の組み合わせは25日に抽選する予定。決勝は28日の予定。優勝校は8月7日から15日間、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場である全国高校野球選手権大会に出場する。





抽選会でくじ番号を発表する神島の町塚広夢主将▽（和歌山市で）

選手宣誓は楠本君（田辺工業）

開会式の選手宣誓は、抽選で田辺工業主将の楠本迅一朗君（3年）に決まった。楠本君は「まさか自分がと思った。みんな頑張っているということ、来年の大会が1世紀（100年）の節目になるという内容を入れていきたい」と話した。

紀南10校　主将のコメント

順不同、敬称略

水本天斗（南部）　しっかり準備し、どのチームが上がってきても自分たちの野球をしたい。

吉川輝樹（南部龍神）（耐久―日高中津の勝者と対戦）どちらも強いチーム。力負けしないようにしたい。

水原大輔（田辺）　相手がどこでも苦しい戦いになる。今までやってきた成果を初戦から出し切る。

町塚広夢（神島）　最後の大舞台で最高の対戦相手と当たった。緊張するけどわくわくする。

楠本迅一朗（田辺工業）　串本古座は練習試合で敗れているので、投手と4番打者に警戒して臨む。

原祥平（熊野）　初戦の相手は昨年と同じ和歌山東。今度こそ初戦を突破し、先輩の借りを返す。

澤井太郎（串本古座）　田辺工業はよく打つ印象。紀南の高校が多いゾーンだが、どこと当たっても勝つのみ。

城澤龍斗（新翔）　春の大会では星林に負けたので、リベンジを果たす。目標は3勝以上。

吾妻和記（新宮）　ゾーンに強豪チームがあるが、あまり意識せずに初戦を全力で戦いたい。

中本大晴（近大新宮）　市和歌山は強い相手だが勝ち進み、春の大会で敗れた紀北工業にリベンジをしたい。